



阿津賀志山（国見町文化財センター「あつかし歴史館」（旧大木戸小学校）より撮影）

文治5年（1189年）、藤原泰衡が源頼朝の率いる鎌倉軍を迎え撃ち、奥州合戦最大の激戦地となった「阿津賀志山」。山麓には、江戸時代の難所跡「旧奥州道中国見峠長坂跡」が残り、また JR 東北本線、東北自動車道、国道4号などが縦走り、今も昔も交通の要衝となっています。

「阿津賀志山」は、この戦いが記された鎌倉幕府の歴史書「吾妻鏡」に登場しますが、その名称は平安時代に編纂された辞書「倭名類聚抄」に記載の「陸奥国刈田郡篤借郷」（宮城県白石市南部一帯の地域）という地名に関連するのではないかと考えられています。

合戦の際、山麓に築かれた防塁（二重堀）は今もその姿を残し、「道の駅国見あつかしの郷」の屋根のデザインにも用いられました。

裾野の穏やかな田畑より山頂を望み、そっと目を瞑って、八百数十年の歴史に想いを馳せてみたいものです。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】



竣工式で行われたテープカットの様子

道の駅国見あつかしの郷の竣工式が4月27日、現地で行われ、関係者約150人が出席しました。

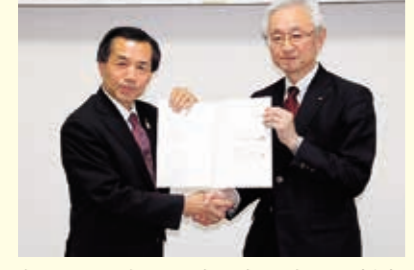
## 道の駅国見あつかしの郷 竣工式が行われました

竣工式では、太田久雄国見町長が「道の駅が復興のシンボル、防災拠点、町の活性化の施設となるよう取り組んでいきます」と式辞を述べ、その後関係者らによるテープカットが行われました。また、道の駅建設に尽力された工事関係者に太田町長より感謝状が贈られました。

### 感謝状を贈られた皆さま

- 株式会社見建設 代表取締役 野地勝巳 様
- 株式会社渡辺建設 代表取締役 渡辺一郎 様
- 株式会社フォルム建築計画 代表取締役 安藤正道 様
- 福島建築設計協同組合 代表理事 平子恵俊 様
- 有限会社佐藤測地 代表取締役 佐藤辰雄 様

## F 調利奨 尤



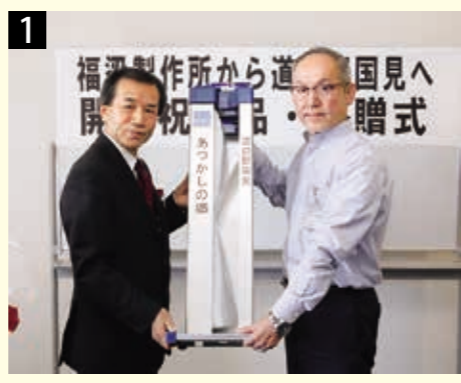
握手する太田代表と相山社長（右）

国見まちづくり株式会社と福島交通観光株式会社との相互協力契約の調印式が4月20日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。この契約は、まちづくり会社と福島交通観光が連携してツアーなどに道の駅を取り込むことで、県内外に道の駅の魅力発信することを目的として締結されました。太田久雄まちづくり会社代表取締役は「福島交通観光さんの力をお借りして道の駅の活性化を推進します」とあいさつし、相山進福島交通観光代表取締役社長は「魅力発信のため頑張ります」と述べました。

## 福島交通観光と 相互協力契約締結

## 道の駅オープンに向けて さまざまなご支援をいただきました

- 1 株式会社福梁製作所の村岡賢一代表取締役社長より、傘袋を自動で装着する「傘ボン」を3台寄贈いただきました。
- 2 道の駅を施工した(株)見建設（野地勝巳代表取締役）と(株)渡辺建設（渡辺一郎代表取締役）より、屋外広場に遊具を寄贈設置していただきました。
- 3 福島県酒類卸株式会社の藤田博文代表取締役社長より、「益々繁盛（升半升）」を祈念して、二升五合の国見あつかしさんを寄贈いただきました。



## ～今月の表紙～



道の駅国見あつかしの郷が5月3日、グランドオープンしました。当日は記念セレモニーが開催され、太田町長をはじめ関係者は来場者とともに風船を一齐に放ち、待望のオープンを華やかに飾りました。

目次

- 2 目次
- 3 道の駅国見あつかしの郷 竣工式
- 4 特集 道の駅国見あつかしの郷グランドオープン
- 8 春の叙熱、国見町食卓図鑑PART2
- 9 質問のできる自習室、域学連携による地域づくり
- 10 こいのぼりと手作りワークショップ他
- 11 復興のあしおと、小さな天才たち
- 12 笑顔のひろば
- 14 まちのわだい
- 16 保健だより
- 18 暮らしの情報
- 22 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー